

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：26022

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇全国学力・学習状況調査の質問紙の結果から、毎日、宿題と家庭学習に取り組む子どもがほとんどである。また、算数や国語の学習は将来役に立つから大切だと思っている。</p> <p>◇児童アンケートでは、「勉強が楽しいか。」「疑問やめあてをもって取り組んでいるか。」の2つの設問に89%、「勉強中、“わかった”“なるほど”と思うことがあるか。」の設問に97%の児童が肯定的な回答をした。主体的な学びの広がりやうかがえる。</p> <p>◇算数科を通じた授業改善を通し、全体交流における意見の切り返し方、板書構成、子ども同士をつなぎ価値付ける教師の関わりがまなびの土台となることを教職員で共有できた。</p>
	<p>◇全国学力・学習状況調査の質問紙の結果では、家庭での学習時間が1時間未満という子が44.4%と多い。内容も好きなことばかりに取り組む傾向にある。</p> <p>◇算数は、全ての領域で全国平均を下回っている。また、国語では「聞くこと・話すこと」「書くこと（記述式）」「読むこと」「言語」が全国平均を下回っている。算数においても、読解力や表現力の低さが原因であると考えられる。</p> <p>◇上述のように全国平均を下回る実態があるが、児童の自己評価は高く、差が生じている。「もっと知りたい。」「まだ疑問が残る。」「ここがまだ分からない。」といった、次につながるような自己の振り返りができていないことが原因だと考えられる。</p> <p>◇文章を読まない、読めないといった苦手意識や語彙不足により、問いに対して一言で答えを終わらせてしまう傾向があり、学びの深度が浅い。</p>
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</p>	
<p>◇共通指標のアンケートでは、『自分にはよいところがある。』という項目に対する肯定的な答えは91.3%と高く、自分を評価していることが分かる。しかし、『自分が必要とされていると感じる。』という項目に対する肯定的な答えは、78.3%と低い。</p> <p>◇日常生活や行事を通して、教師や子ども同士がよいところをほめる場面を作る。また、委員会や学級の係などで、責任のあることをやり遂げる喜びと頼りにされているという感覚を抱かせていく。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

言葉でつながり、共に学びを紡ぐ子の育成

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>(1) 研究主題「言葉でつながり、共に学びを紡ぐ子の育成」を目指す。そのために、今年度は、副主題『「聴く・つぶやく」から始める、言葉への親しみ』を設定する。</p> <p>(2) 「聴く・つぶやく」が生まれる学級経営・日常実践を研究の視点に設け、安心して言葉を表出できる学習土づくりに力を入れる。</p> <p>(3) 授業内で「聴く・つぶやく」が生まれるような教師のかかわり、「聴く・つぶやく」が学びにつながる授業構成を目指し、授業検討・公開・交流を行う。</p>	<p>①自治的な児童会活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいさき運動」の取組～「あいさつ」でより良い人間関係・学校生活を築いていくために～児童会が中心となって活動 ・「あいさつバトン」～各学年がリレー方式で様々なあいさつ企画を考え実施 <p>②中学校との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラベンダープロジェクト ・さっぽろっ子サミット <p>一緒に活動することで、「地域の一員である。」「地域を大切にしたい。」という意識を育む。</p>
<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について</p>		
<p>◇学習の中で疑問に思ったことを調べる学習や、自ら課題を設定して調べを進める学習などにICTを活用する。また、ICTを活用して新聞にまとめるなどの活動に取り組む。</p> <p>◇授業の話し合いの場面で、ICTを利用して一人一人の考えを表示することで、互いの考えを知り、共感したり理解を深めたりすることができる。</p> <p>◇②「さっぽろっ子サミット」について、小中学校の生徒会と児童会がオンラインで意見を交換し考えを集約する。</p> <p>◇パートナー部会の指導案検討で、対面とオンラインの両方の方法で会議を設け、できるだけたくさんのメンバーで交流できるようにする。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

<p>新年度</p> <p>◇本プログラム共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議（4月24日） ・学級懇談会（6月19日、26日） ・パートナー会議 	<p>【一人一人の教職員】</p> <p>◇一人1授業・研修</p> <p>◇各自の研修</p> <p>札教研・他校の研究会など</p>	<p>【学校全体】</p> <p>◇小中授業実践交流…札教研</p> <p>◇校内研修（外部講師）</p> <p>◇校内ミニ研修（校内講師）</p> <p>◇全国学テ・校内学力テストの分析・共有</p>	<p>次年度へ</p> <p>◇学校評価</p> <p>◇育成プログラムの見直し</p> <p>◇成果・課題の整理、共有</p> <p>◇研究の成果と課題</p>
--	---	--	--